



銀杏羽

NPO 法人日本野鳥の会鳥取県支部報 いちようばね

2018年1・2月号 NO.155



<表紙写真> 米子水鳥公園から大山を望む(写真:水鳥公園ブログより)
ネイチャーセンターからの眺望です。つばさ池の向こうに雪を頂いた大山が見えます。
前浜には多数のカモ、つばさ池にはコハクチョウの姿が見えます。

<今回の特集> はがきアンケートの集計結果 テーマは『大山』です
毎年恒例の支部会員対象のはがきアンケートの回答を集計!

<探鳥会案内>

- 1月 7日 新年合同探鳥会 米子水鳥公園+粟島神社参拝+コハクチョウの餌場めぐり
- 2月 4日 東部 鳥取市日光池周辺 冬の水鳥観察会
- 11日 中部 天神川でコハクチョウとカモの観察会
- 25日 西部 楽しいカモメウォッチング+昼食は海鮮グルメ
- 3月11日 東部 千代川・八東川で冬鳥観察会
- 11日 中部 伯耆しあわせの郷の周辺で春を探す探鳥会
- 25日 西部 大山山麓で春を探して探鳥会+昼食は蕎麦

<その他>

- 1月14日 ガン、カモ、ハクチョウ類全国一斉調査
- 2月10日、11日 中四国ブロック交流会イン島根

年頭のあいさつ

支部長 土居克夫

皆さま、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年は調査活動や探鳥会への参加等、支部の活動を支えていただきありがとうございました。今年度もご支援いただきますようによろしくお願ひします。

野鳥の会の会員数は減少傾向をたどっております。支部では仲間を増やすため、探鳥会に参加された非会員の方に支部報を半年間無料進呈し、支部の活動を知ってもらい入会を考えてもらうという「お試しメンバー」（お試し入会）制度を一昨年度より始めました。おかげさまで鳥取県支部の会員は200名を超えました。鳥取県支部のピーク時の会員数は260人ほどでしたので、まずここを目標に会員の増加を図っていききたいと思います。

昨年、鳥取県のストレスオフ推進の補助金を利用した事業から生まれた「ヒーリングバード」は、「ノームの糸車」さんとの連携で商品化され、野鳥の会のカタログを通じて全国に販売されました。この事業は障がい者福祉事業所との連携という意味からも注目されています。

夏には全国各地で「ツバメのねぐら観察会」が実施され、鳥取県支部でも観察会を行い、今年は中部地区で自治会との協力で開催しました。初めて参加する親子連れなど多数の参加がありました。いずれの取り組みもたくさんの方に自然観察等を通して私たちの活動を理解していただきました。

昨年春に前支部長の福田紀生さんが「旭日双光章」を受章されました。自然保護が受章理由というのは県内初ではないでしょうか。受章理由のひとつが「県東部の山地に建設が計画された風力発電施設について、クマタカの生息域への影響が懸念されたことから、外部委員による適正な環境影響評価の実施を強く進言。結果として、この建設計画は大幅に変更され、希少野生動植物とその生息環境の保護に貢献することが大であった。」です。私たちの活動は広い視野から見ると社会の利益に資しているのです。

県内では貴重な猛禽類の生息地に風力発電や太陽光発電の計画があります。野鳥の観察を通して自然を知り、自然を守るのが私たちの活動です。少数の力では自然は守れません。今年も会員の拡大に力を注いでいきたいと思ひます。

今年も探鳥会や観察会を中心に、皆様とともに楽しく自然保護活動を進めていきましょう。

探鳥会ガイド



2018年 1月

7日(日) 米子市彦名新田 みんな集まれ！新年合同探鳥会

東
中
西

09:30 米子水鳥公園観察ホール集合（入館料が必要です）
冬鳥観察＋粟島神社参拝（希望者）（十午後）コハクチョウの餌場巡り（希望者）
12:00 現地解散（雨具、防寒スタイル）
入館料 高校生以上70歳未満310円、中学生以下、70歳以上無料
担当 津森宏（090-1188-6659）

2018年 2月

東 部	4日(日) 鳥取市気高町 日光池周辺 冬の水鳥観察会 09:00 鳥取市気高町宝木 JAいなば宝木支店駐車場集合（国道9号線コメリ横） 11:00 現地解散（雨具、防寒スタイル） 担当 戸川信吾（0857-26-3839）
中 部	11日(日) 湯梨浜町 天神川でコハクチョウ&カモ観察会 08:00 湯梨浜町長瀬 天神川右岸（北野神社のちょうど対岸）トイレ前集合 10:30 現地解散（雨具、防寒スタイル） 担当 谷口真一（080-3891-6093）
西 部	25日(日) 西部海岸 楽しいカモメウォッチング＋昼食会 09:00 鳥取県西部臨総合事務所駐車場集合 日野川河口から海岸線を東へ移動 11:30 現地解散（雨具、防寒スタイル） 昼食はお魚センターみくりや2F「恵比須」で海鮮丼はいかが？ 担当 土居克夫（080-1924-1162）

2018年 3月

東 部	11日(日) 鳥取市河原町 千代川・八東川 水辺の冬鳥観察会 09:00 鳥取市河原町稲常 鳥取県林業試験場駐車場集合 11:00 現地解散（雨具、防寒スタイル） 担当 大下裕（0858-84-3616）
中 部	11日(日) 倉吉市伯耆しあわせの郷 しあわせの郷で春を探します 09:00 倉吉市小田 伯耆しあわせの郷駐車場集合 11:30 現地解散（雨具、防寒スタイル） 担当 松本真美（090-6410-2368）
西 部	25日(日) 伯耆町 大山山麓で春を探そう＋昼食会 09:00 鳥取県西部臨総合事務所駐車場 09:30 植田正治写真美術館駐車場集合 11:30 現地解散（雨具、防寒スタイル） 昼食は「ノ郷の里」で蕎麦（そば）はいかが？ 担当 山中克子（0859-29-8455）

運営委員会

コアシサシのデコイづくり終了後に行います。

日 時 平成30年2月11日(日) 15:00~17:00

場 所 湯梨浜町中央公民館羽合分館(はわいアロハホール)会議室B

コアシサシのデコイづくり(小学生の参加可)

コアシサシの繁殖を増やすため、コアシサシのデコイ(木製)を手づくりします。今年は小学生の子供たちも参加できるよう、木工用ヤスリでの削り出しの工程を入れます。大人はナイフでの削り出し作業、子供たちは木工用ヤスリやサンドペーパーでの仕上げ作業を行ってもらう予定です。最終的な仕上げは、4月にデコイの色塗り作業を予定しています。

日 時 平成30年2月11日(日) 12:00~15:00

場 所 湯梨浜町中央公民館羽合分館(はわいアロハホール)会議室B

その他 汚れてもいい服装、軍手などの用意をお願いします。

平成29年度 中四国ブロック交流会 in 島根

中国四国の9支部が毎年1回、持ち回りで開催しています。今年度は島根県支部が担当です。参加希望の方は事務局(津森)まで連絡してください。

■日本野鳥の会中四国ブロック交流会スケジュール

2月10日(土)

13:00~13:30 受付 ふるさと森林公園学習展示室(参考:www.forestpark.or.jp/)

13:30~13:40 開会、あいさつ

13:40~14:40 記念公演 島根県支部:「島根県に生息する鳥類の実態と特徴」(仮題)

14:40~14:50 休憩

14:50~15:10 財団本部からの報告 ツル分散事業他

15:10~16:00 各支部からの報告・意見交換 各支部3~5分をお願いします(質疑応答も)

16:00~16:10 記念写真撮影

16:10~17:00 支部代表者会議

その他の人は懇親会会場へ移動・休憩 懇親会及び宿泊先:協定旅館 湯の川温泉「松園」

18:00~20:00 懇親会 湯の川温泉「松園」

2月11日(日)

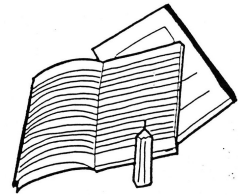
6:30~7:30 マガンのモーニングフライト観察 宍道湖西岸斐伊川河口右岸

8:00~9:00 朝食(宿に帰って朝食・休憩)

9:00~11:00 宍道湖西岸探鳥会(支部別に自家用車等で行動)

11:00 現地解散(各班ごとに) 解散時間は各班で自由に

探鳥会レポート



①月日②場所③人数(うち会員外)④鳥種数⑤リポーター

①10月15日②大山一斉清掃+BW

③10人(うち会員外0人)

④記録なし⑤土居克夫

今年の秋の一斉清掃はしっかりと雨でした。中途半端な雨でなくしっかりとした雨です。久しぶりで雨具着用でした。いつものように大山寺橋から県道を横手別れまで空き缶やゴミを拾って歩きました。所々で新しい空き缶や弁当ガラなどが目立ちます。また土の中からはかなり古い空き缶やガラス瓶も出てきます。ゴミの量は年々少なくなってきていますがなくなることはありません。今年の回収は中ぐらいのごみ袋に可燃、不燃それぞれ1袋でした。

大山の一斉清掃は昭和52年から始まっていますが、そのきっかけは昭和42年大山保勝会(会長は支部の元顧問清水谷さん)の活動でした。この頃は「大山の自然を守る会」の活動も活発でゴミの問題を自然保護運動とうまく連動した活動を展開していました。ちなみにこの中心にいたのは会員の池田さんです。

一斉清掃後、雨の降る中を小鳥の路を大山寺まで歩きました。赤く色づいたヤマブドウや黄色味が増したブナやクロモジを眺めながら散策しました。最後は山楽荘でそばを食べながらのおしゃべりタイムでした。



①11月5日②鳥取市湖山池

③12人(うち会員外1人)

④カンムリカイツブリなど35種⑤佐々木豊



昨日の悪天候と違って、風もなく穏やかな快晴、探鳥日和でした。

最初に青島大橋からの観察、池に浮かぶホシハジロ、キンクロハジロ等が確認できました。遠く左前方にかなり多くのカワウ発見、S氏の話によると近年カワウの数が増えたとのこと。そういえば鹿野の堀には以前いなかったが最近潜水している姿をよく見かけます。橋を渡ると、正面に黄色の実をたわわに付けたセンダンの大木が私たちを迎えてくれました。話によるとシロハラ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミの餌になるらしい。島を左方向に進むとキンクロハジロ、オオバン、スズガモ、ホシハジロ等の群れが潜水しながら泳いでました。途中右側の斜面地に赤い実が裂け光沢のある黒い種子が目立つゴズイの木がありました。ゴズイの実を食べる鳥はいないのかな?しばらく進むと遠くにカンムリカイツブリの大群が確認できました。斜面地にはツワブキ、アオキ、シロダモの赤い実を確認、これらの実は、ヒヨドリ、ツグミの餌になるらしい。ヒヨドリは食べる実の種類が多いですね。

後半は小高い山に登りながらの探鳥、アオジ、ウグイス、シロハラ、ヤマガラ等がいたそうですが、未熟な私にはアオジ、シロハラは確認で

きませんでした。

最後に皆が集まり、鳥合わせをやっているとき、上空にミサゴが飛んできてくれました。青い空に白い翼がお似合いです。観察した鳥はかなり多く35種、今度参加するときもご教授お願い致します。

①11月12日②大栄町国坂神社

③10人(うち会員外0人)

④ジョウビタキなど11種⑤中本京吾

天気は曇りで、少し冷えている中、まずは神社の敷地内で観察開始。30分程たってもなかなか鳥が現れず、はじめは皆さん植物の観察に夢中。そんな中、頭上に1羽スズメを見つけみんな揃ってその可愛さにみとれていました。そんな時ふと後ろを向くとジョウビタキのオスを発見！何やら小さな果実をくわえて飛び回っていました。

続いて、小さな林を抜けて住宅街へ。ハシブトガラスが群れて大移動をしているのを見つけました。その後も歩き続けて、ヒヨドリやトビなど数種類観察できました。

今回は、あまり鳥がいりませんでした。色づいた柿、謎の動物の骨などおもしろい発見もたくさんありました。

最後に差し入れの高級な柿をいただき、みんなで団らんを楽しむこともできました。

①11月19日②日野町鵜の池

③7人(うち会員外1人)

④オシドリなど23種⑤三保友史

小雨まじりの天候で参加者少なめも、ガンカモ調査後の参加者も含めて7名が集合。

集合場所の鵜の池駐車場から池を望むと、対岸付近に本日の主役、鵜ではなくオシドリが早くも待機状態で、早速観察開始。彼らのお気に入り場所は、岸は土と石からなり、水辺から斜めにせり上がり、上部崖には木々が茂っている。岸辺を歩く、佇む、水面を泳ぐ、ディスプレイする、などの行動を見せてくれた。50羽ほど

でオスが多い。筆者は人生初見の生オシドリ！美しい！その他にカワアイサ、カモ類も来ていた。

天気はなんとか持ちそうということで、池を一周することに。歩きはじめるとすぐ、高橋尚子さんを招待しての昨年の鵜の池マラソンの立派な記念碑があった。

その後はしばらく鳥の気配がなく、静かでひんやりした空気の中、紅葉と植物の実などを観察しながら進む。観察小屋があり、木窓から覗いてみたが、手前の木々が池の景色を遮っていた。その後、鮮やかな紅い楓と落ち葉の絨毯に魅せられているとアトリの小群が現れ、声と姿が紅葉に見え隠れしてしばし観察した。



リースを華やかに彩る様々な植物の実が見られた。マムシグサの赤い実や、ムラサキシキブの薄紫色の実など教えていただいた。赤い実は色んな色味がある。ヒヨドリジョウゴはトマトの色味だが水分が多くリースには使えないそう。鳥はどれを食べるのか？途中、なぜかキウイの実が沢山実っていた。ヒヨドリあたりがフンを落とすのか？

池の反対側に来た頃、霧がかかった山や、晴れ間から覗く青空に風情を感じる。オシドリの餌となるドングリが落ちていた。

不意に大きな羽音がして、崖の下から鳥が一斉に飛び立った。ちょうど遊歩道の崖の下がオシドリの群れがいた場所だったのである。オシドリたちは、何度も遠くの池の上を旋回して、なかなか降りない。どうやら、お気に入りの場

所に戻ってきたいらしく、私たちが立ち去るのを待っているかのようだった。カワアイサ軍団やマガモの番やヨシガモたちが、それぞれに連隊を組んで池の上をスイスイ泳いでいるのが見えた。水面がキラキラ光っているところに入ると、紛れて視認しづらくなった。

もうすぐ1周が終わりかけるといふ頃、エナガの声と姿が次々に現れ、さらにあれはシジュウカラかコガラかなど話している間にヤマガラも登場し、コゲラも同行の賑やかなカラ類の混群に囲まれて大いに癒された。

鳥合わせの後、根雨のオシドリ観察小屋に移動して数羽のオシドリを観察して、特製おみくじで今日の運勢を確認、皆さん結構当たっていた様子。新蕎麦まつりでたたら屋さんが臨時休業のため、オシドリ資料館でおしどりうどんのスペシャルうどん(スタミナうどん?)を皆でいただいた。とても美味しく、寒い中2時間歩いた体も温まったところで+グルメ探鳥会はお開きとなった。

- ①12月2日、3日②島根県斐伊川河口
- ③16人(うち会員外1人)
- ④マガンなど44種⑤津森宏



恒例となった冬期セミナー付き斐伊川探鳥会です。宍道ふるさと森林公園のログハウスとコテージを半年前から予約し、ログハウスをセミナー、懇親会の会場と男性用宿舎とし、コテージを女性用宿舎に用意しましたが、問題は天候です。9月、10月、11月と西部ブロックの

探鳥会は天候が最悪、しかし、この週末の二日間だけは山陰の冬とは思えないほど穏やかな天候でした。きっと誰かのおかげでしょう。

冬期セミナーでは島根県立三瓶自然館の星野チーフを講師に、今年雲南市で繁殖したコウノトリについて詳しく話を聞きました。給餌条件なしでの野外繁殖事例は徳島県鳴門市について2例目であり、今後の長期的な観察体制を準備されていたようですが、ハンターによる誤射は誠に残念な出来事でした。繁殖の条件が整っている地域なので次の繁殖に期待したいものです。講演では、実物大のコウノトリの画像が用意されており、その大きさに改めて驚きました。

その後の懇親会では、地元の仕出屋から取り寄せた盛り皿に、参加者が持ち寄った手料理、各種のお酒などをおいしくいただき、遅くまで野鳥談義に盛り上がりました。

翌朝は6時半には斐伊川河口に到着し、宍道湖のねぐらから飛び立つマガンの群れを観察しました。気温は低いですが風はなく、穏やかな朝でした。マガンの群れの一部はすでに河口からやや上流の中州にいるとのこと。しばらく待つと宍道湖方面から数羽のグループ、十数羽の群れ、数十羽の大きな群れと次々に我々の方に飛来して来ました。やがて中州の群れも河口付近の上空で合流し、賑やかな乱舞を演じてくれました。

朝飯前の探鳥の後にはキャンプ場に帰って朝食をとり、再び河口集合は9時。マガンの群れを探して右岸から左岸へと水田を巡り、宍道湖グリーンパークの近くの水田に大きなマガンの群れを発見、カリガネが2羽混じっていたとのこと。最後は宍道湖グリーンパークに移動して鳥合わせの後解散しました。

探鳥会で観察された野鳥



	月	10	11	11	11	12		場所	大山	湖山池	国坂	鶺鴒池	斐伊川
	日	15	5	12	19	3							
	場所	大山一斉清掃	鳥取市湖山池	北栄町国坂神社	日野町鶺鴒の池	島根斐伊川河口		参加者数	10	12	10	7	16
								うち会員外	0	1	0	1	1
								確認鳥種数	—	35	11	23	44
								担当者	土居克夫	下田康生	谷口真一	山中克子	津森宏
1	カンムリカイツブリ		○			○	35	ハヤブサ					1
2	ハシロカイツブリ					○	36	コチヨウケンボウ					1
3	カイツブリ				1	○	37	キジ					○
4	カワウ		○		3	○	38	キジハト			1		○
5	コブハクチョウ					○	39	トビ					○
6	コハクチョウ					○	40	カワセミ		○			
7	マガン					○	41	アカゲラ				1	
8	カリガネ					2	42	コゲラ		○	1	1	
9	ヒシクイ					○	43	ハクセキレイ		○	5		○
10	ツクシガモ					1	44	セグロセキレイ		○		2	
11	マガモ		○		29	○	45	ヒヨドリ		○	20	2	○
12	カルガモ		○			○	46	モズ			1		○
13	コガモ		○			○	47	シヨウヒ [♀] ヅク		○	1	1	○
14	オシドリ				49		48	ルリヒ [♀] ヅク				1	
15	ヨシガモ		○				49	イソヒヨドリ		○			
16	オカヨシガモ		○				50	シロハラ		○			
17	オナガガモ		○			○	51	ツグミ					○
18	ヒトリガモ		○			○	52	ウグイス		○		2	○
19	ホシハシロ		○		3	○	53	メホソムシクイ		○			
20	キンクロハシロ		○		5	○	54	コガラ				1	
21	スズガモ		○				55	シジュウカラ		○		1	
22	カワアイサ				23	○	56	ヤマガラ		○		2	
23	カモメ					○	57	エナガ				10+	
24	コサギ					○	58	メシロ		○		1	
25	ダイサギ					○	59	アオジ		○			
26	アオサギ		○			○	60	オオジュリン					○
27	オオバン		○		7	○	61	カラヒワ		○	2		
28	タケリ					○	62	アトリ				5	
29	イソシギ		○				63	スズメ			6		○
30	タシギ					○	64	コクマルガラス					10+
31	ミサゴ		○			○	65	ミヤマガラス					○
32	トビ		○	1	1	○	66	ハシホソガラス		○	12		○
33	ノスリ		○				67	ハシブトガラス		○	30	1	
34	ハイロチュウビ					○							



月日	場所	種名(個体数など)	観察者
10月2日	鳥取市湖山西	スガモ(雄1)	下田康生
10月5日	鳥取市湖山町	ムナヅク(50±)、ダイゼン(1)	加藤貞和 加藤益子
10月13日	鳥取市千代川	オカガモ(雌10±)、キンクロハジロ(雄1)、 ホシハジロ(雄1)、オカガモ(2)	久保昇三
10月13日	南部町北方	ヒメギ(3)	津森宏
10月14日	米子水鳥公園	コハクチョウ(23、初飛来)	公園ブウ
10月15日	鳥取市気高町	コハクチョウ(22)	加藤貞和 加藤益子
10月17日	大山	アトリ、マヒワ、ハイタカ、ノスリ、イワツバメ	山崎寛子
10月17日	天神川倉吉大橋たもと	カアサギ(メス型3、今季初認)	吉田良平
10月17日	南部町北方	クサギ(1)	津森宏
10月19日	米子市淀江町長者ヶ原	コウノトリ(1)	成田雅彦
10月19日	米子水鳥公園	クワヅラヘラサギ(成鳥冬羽1)	桐原佳介
10月20日	湯梨浜町泊	ジョウビトキ(初認)	徳井玄泰
10月24日	米子市自宅庭	ジョウビトキ(雄1、雌1、初認)	成田雅彦
10月24日	南部町北方	ツバメ(10±)	津森宏
10月26日	南部町北方	ジョウビトキ(雄1)	津森宏
10月26日	米子水鳥公園	クワヅラヘラサギ(2)	公園ブウ
10月29日	米子水鳥公園	クハ	公園ブウ
10月30日	倉吉市ニ加裏電線	スズメ(150)	松本真美
10月31日	南部町北方	ツグミ(2or3 今季初認)	津森宏
10月31日	飯梨河口他	カウ、カガモ、マガモ、オカガモ、ヒトリガモ、 キンクロハジロ、スガモ、ホシハジロ、ミサコ(3)、 カムリカツブリ、コハクチョウ(2、中海の上)、トビ、 スズメ、コサギ、オオバン、ダイサギ、 コハク(2、論田の空)、アサギ、モスハクセキレイ、 ジョウビトキ、コハクチョウ(1)、材ヅロ	成田雅彦
11月1日	鳥取市福部町	アトリ(5)、ヘビワ(1)、ヒメギ(1)、ヘビシコ(1)、 カラヒワ	加藤貞和 加藤益子
11月1日	米子水鳥公園	ヘラサギ(成1、今季初認)、 オハクチョウ(成2、今季初認)	公園ブウ
11月2日	倉吉市自宅庭	ジョウビトキ(雄1)	松本真美
11月2日	倉吉郵便局そば	ハクセキレイ(ねぐら、50±)	吉田良平

11月3日	天神川河口河川敷	オジユリン(200±)	吉田良平
11月3日	倉吉市自宅庭	ジヨウビ♀(雌1)	松本真美
11月7日	倉吉市自宅庭	ジヨウビ♀(雄1)、セグロセキレイ(2)、スズメ、ヒヨドリ	松本真美
11月9日	南部町天萬	コハクチョウ(20+)	津森宏
11月11日	米子水鳥公園	コハクチョウ(300)、オオハクチョウ(4)、マガン(20)	公園ブコウ
11月13日	鳥取市扇ノ山	キレンジヤク(100±)、ヒレンジヤク(3)、アトリ(30±)、ツグミ(10)	加藤貞和 加藤益子
11月13日	大山山麓	コサギ、トビ、アオサギ、セグロセキレイ、ジヨウビ♀(雌)、ヒヨドリ、キジバト、ヤマトリ(雌)、ムクドリ(群れ)、キンクロハジロ、カルガモ、マガモ、オシドリ(雄3雌2)、カワウ、タイサギ、カイツブリ、ハイカ sp(小型)、エガ、オオバン、ミサコ	成田雅彦
11月14日	南部町北方	リュウキュウサイショウキ(?)	津森宏
11月15日	米子市弓ヶ浜公園	ハジロカイツブリ、ハシロカモ(幼1)、コガモ	三保友史
11月21日	北栄町瀬戸と西園の間	コハクチョウ(6成1幼)、マガン(2成)、ヒシキ(2)	吉田良平
11月21日	湖山池青島	ハジロカイツブリ、カムリカイツブリ、カワウ、コサギ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、オシロカモ、ミサコ、トビ、オオバン、イソギ、ヒヨドリ、ジヨウビ♀(声)、イソヒヨドリ、ウグイス(声)、ヤマガラ、メジロ(声)、シメ?(声)、ハシロガラス	一澤圭
11月25日	湖山池青島	ハジロカイツブリ、カムリカイツブリ、カワウ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、オシロカモ、ミサコ、トビ、ノスリ、オオバン、イソギ、カモの一種、ハセキレイ、ヒヨドリ(声)、ジヨウビ♀(声)、イソヒヨドリ、ウグイス(声)、メジロ(声)、スズメ、ハシロガラス	一澤圭
11月25日	北栄町瀬戸	ミヤマガラス(200±)	吉田良平
11月25日	米子水鳥公園	コハクチョウ(380)、オオハクチョウ(10)、ヒシキ(6)、マガン(30)	公園ブコウ
11月26日	米子市淀江町中間	ミヤマガラス(180±)	吉田良平
11月26日	米子市泉	ミヤマガラス(200±)	吉田良平
11月28日	米子市弓ヶ浜公園	マガモとカルガモの雑種(1)、ハシロカモ(幼1)、コガモ、ジヨウビ♀(雌1)、カケミ(1)	三保友史
11月29日	米子市弓ヶ浜公園	カムリカイツブリ(40)、コガモ、カケミ(1)、スズメ(100+)	三保友史

身近な野鳥情報どしどし送ってください。お待ちしております。(担当:谷口)。

ササゴイ観察記

鳥取市 加藤貞和

昨年（2016年）繁殖を終えたササゴイが去った後、営巣していた中州周辺の護岸工事があり、営巣していた中州の一つが取り払われ、今年の営巣を心配していましたが、残された中州の柳林で6巣の繁殖観察ができましたのでまとめてみました。

【それぞれの巣の概況】・・・・・・・・・・・・・・・・

NO1

5月5日。雄が巣材の小枝を運んでいるのを追うと雌がいて、巣を作っていました。しかし、その位置が大きな枝木で死角になり観察しづらい場所でした。が、5月10日の観察で抱卵を確認しました。

6月5日に1羽、12日に3羽、17日には4羽のヒナを確認しました。結果、ヒナは4羽で6月26日には全個体が巣立ちました。

NO2

5月17日。巣材の小枝を柳林の中に運んでいました。茂みの中でなかなか追えませんでしたでしたが、なんとかその位置を探し当てたものの、19日以降なぜか中断していました。しかし、6月9日に再度開始し、12日の観察で抱卵を確認しました。

7月10日に1羽、16日に2羽のヒナを確認しました。しかし、ふ化日数から見て、もう少し早くに産卵し、ふ化していたことと思います。なにぶん枝葉の茂る林の中の観察で、個体数等詳しく観察できず残念です。7月22日の観察で、巣に姿が見られなかったので全個体が巣立ったものと思います。

NO3

5月21日。NO2を観察している時、偶然見つけましたがすでに抱卵していました。NO2の斜め左下3mほどの場所で、比較的巣の中心部が見えるので観察しや

すく、この日からビデオ録画を始めました。6月16日に1羽、18日に2羽、21日に3羽のヒナを確認。7月6日に3個体とも巣立ちました。

NO4

この巣も5月21日、NO1を観察している時に見つけましたが、すでに抱卵していました。この巣も茂みの中で、巣そのものは見えず、親鳥の抱卵姿勢でそれと分かる程度の営巣です。スコープでの観察を続けた結果、6月17日に1羽、21日に2羽、29日には4羽のヒナを確認しました。7月6日に1羽の巣立ちを観察しましたが、全個体の巣立ち日は確認できませんでした。

NO5

6月1日。中州の中程、婚姻色の赤字雄が巣材を採っていました。追うと、柳林の奥の方に入っていました。そこは少し暗い場所ですが、もう一羽いてつがいで巣を作っていました。しかし、この巣も枝葉が邪魔して全体は見えませんが、6月5日の観察で抱卵を確認しました。

6月29日にヒナ2羽を確認しました。その後は枝葉が邪魔で観察出来ずにいましたが、7月11日の朝、風に揺られて巣の辺りの視界が開け、巣のそばの枝木に2羽、巣に2羽のヒナを確認しました。7月21日の観察では4個体とも姿が見えなかったので巣立ちしたと思います。

NO6

7月8日。このつがいはNO3の古巣を補修して営巣を始めました。NO3のつがいが2度目の繁殖ではと思い、写真で判定してみましたが定かではありません。

7月13日から抱卵を始めたのでビデオ録画を巣立ちするまで行いました。8月

4日にヒナ1羽、8日には3羽、10日に4羽確認しました。5日にはまだ1羽でした。6日は例会で氷ノ山に行き、7日は小用で観察できなかったため、その間に2羽のヒナが孵化していたと思います。8月21日は全個体の姿が巣にはなく、周辺や中州の岸辺で見かけるようになりました。

NO	巣作り開始日	抱卵確認日	ふ化確認日(ヒナ数)	抱卵日数	巣立ち日(日数)	全巣立ち日
1	5/5	5/10	6/5(1) 6/12(3) 6/17(4)	27	6/17(12)	6/26
2	5/17	6/12	7/10(1) 7/16(2)	29	不明	7/22
3	不明	不明	6/16(1) 6/18(2) 6/21(3)	不明	7/1(15)	7/6
4	不明	不明	6/17(1) 6/21(2) 6/29(4)	不明	不明	不明
5	6/1	6/5	6/29(2) 7/11(4)	25	7/14(15)	7/21
6	7/8	7/13	8/4(1) 8/8(3) 8/10(4)	23	8/18(14)	8/21

※抱卵日数は抱卵を確認した日から最初のヒナを確認した日数。巣立ち日は最初のヒナが巣を出入りするようになった日、全巣立ち日は、すべてのヒナが巣に戻らなくなった日。

【抱卵日数とその期間の最低、最高気温との関係】

- NO1 27日間の最低気温 14℃、最高気温 25.5℃
- NO2 29日間の最低気温 14.5℃、最高気温 25.6℃
- NO3 21日から抱卵を始めたとして、27日間の最低気温 14.5℃、最高気温 25.8℃
- NO4 21日から抱卵を始めたとして、28日間の最低気温 14.8℃、最高気温 25.9℃
- NO5 25日間の最低気温 16.6℃、最高気温 27.2℃
- NO6 23日間の最低気温 24.7℃、最高気温 33.7℃

NO1とNO2の違いは気温差でなく観察不足だと思いますが、明らかに気温が高くなると抱卵日数が少なくなるようです。

巣立ちは、16日前後でヒナが巣を出入りするようになり、20日前後になると巣に戻らなくなります。しかし、後に生まれたヒナはそれより早く巣立ちしていますが、

その違いは餌の与え方にあるのではないかと思います。ヒナたちは巣で餌を与えられています。初めに生まれたヒナは巣立ち後もしばらくは巣に戻り餌を与えられていますが、次々巣立っていくうち、餌は巣外で与えるようになるため、後に生まれたヒナは早く巣立っていくのではないかと思います。

【巣立ち後の幼鳥の行動】・・・・・・・・・・・・・・・・

ヒナの産毛が生え変わり幼羽になると羽ばたきや羽繕いをするようになり、20日前後で巣に戻らなくなり、巣の周辺の茂みの中に身を隠し過ごすようになります。親鳥が巣の近くにるとギャーギャー鳴いて駆け寄り餌をねだります。また、時折、兄弟そろって水辺で日光浴をしながら羽繕いや流れてくる小さな木片を咥えては捨てる捕食の練習ではないかと思う行動をしていました。

7月27日のことですが、川辺で休息中の1羽が流れてくる直径4-5mmのヤマブドウのような黒くて丸い実を咥えてはブイッと上流に捨て、また咥えては捨てる行動を繰り返し、最後にはその実を飲み込んでいました。実は、次々に流れてくるようで何個も飲み込んでいました。しかし、中州にはそのような実のなる木は見当たりません。この行動から、魚類、両生類、昆虫等の動物質以外に木の実等の植物質も採餌しているようです。

【成鳥の捕食】・・・・・・・・・・・・・・・・

昨年の観察ではササゴイの採餌は主に川辺で待ち伏せし、魚を補食していました。

今年の観察でも待ち伏せが主でしたが、浅瀬を歩きながら次々に小魚を補食する行動を観察しました。また、繁殖している中州の柳林でバッタやアマガエルも補食していました。

バッタや小さなアマガエルはその場で捕食しますが、大きなカエルはその場で補食

しないで、嘴でくわえたまま川辺まで移動し、カエルを洗うような仕草をし、捕食していました。この行動はカエルを洗うのではなく、サギ類の習性で、大きな獲物は水と一緒になくては飲み込むことができないと以前テレビで放映していたことを思い出しましたが観察したのは初めてなので納得しました。

【抱卵中につがい外交尾】・・・・・・・・・・・・・・・・

野鳥8月号(2017年)に「鳥の繁殖生態学」の掲載があり、コヨシキリのつがい外交尾のことが書かれていますが、狭い範囲のコロニーで繁殖するササゴイでもつがい外交尾が見られました。抱卵は雌雄交代で行いますが、NO6巣で雌が抱卵中、つがい外交尾がありました。

7月13日、婚姻色の赤色足の雄が侵入、嘴をカタカタ鳴らしていやがる抱卵中の雌に冠羽を逆立て尾羽を上下に振りながら近寄ると、どこにいたのかつがいの雄が突進し侵入者を撃退、この日は失敗しました。

その2日後の15日、同じ雄が侵入。冠羽を立てて嘴を突出しカタカタ鳴らしていやがる雌、冠羽を逆立て尾羽を上下に振りながら雄が接近。雌が噛みつこうと立ち上がったとき、雄はすかさず雌の背中に乗り交尾しました。その間、約10秒。交尾に成功し雄はさっと逃げていきました。

昨年の観察でも同じようにつがい外交尾行動が何回かありましたが、私の観察中は皆失敗でした。

雄たちは自分の子孫を1羽でも多く残そうとする行動は自然なのかもしれません。

【中州流失】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

8月28日を最後にササゴイの姿は見えなくなりました。ササゴイの去った後で良かったですが、9月17日の台風18号の大雨で残念で

すが営巣していた中州が流失してしまいました。以上が今年の観察概況です。



ササゴイ NO1の巣
幼鳥



ササゴイ NO2の巣
つがい



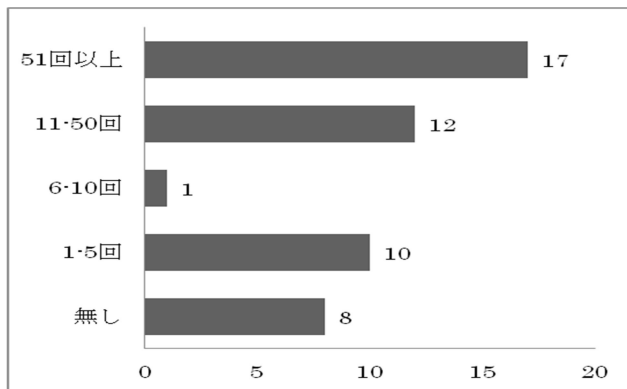
ササゴイ NO1の巣
ヒナ

特集 2018新春はがきアンケート ～ 大山 ～

明けましておめでとうございます。恒例となっています銀杏羽11・12月号に同封のはがきアンケート。昔から、鳥取と言えば「砂丘」と「大山」！鳥取を代表する2大スポットですが、特に今年は開山1300年。山岳信仰の霊山として1300年を迎え、周辺エリアも含めて様々な催しが計画されている「大山」をテーマにしました。

毎年ゴールデンウィークに実施する「バードウォッチング大山」も夏鳥たちのさえずりと山菜料理を楽しむ恒例行事として定着しています。会員の皆さん、今年は大山にバードウォッチングにGO～。
<今回は50名の会員の皆さんから回答をいただきました>

【問1】大山での探鳥経験は～



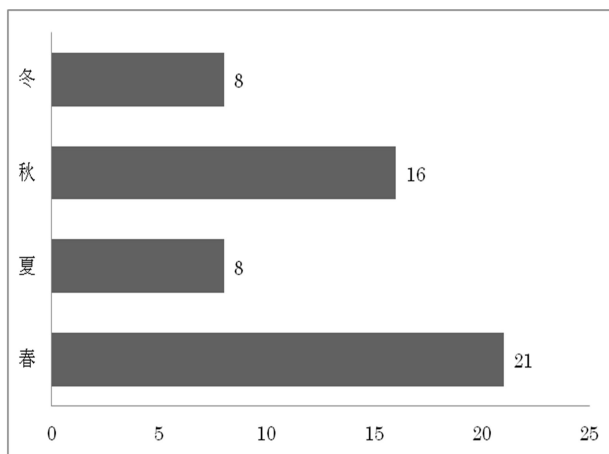
51回以上のコアな大山ファンが17人。ほぼすべて県西部(出身の皆さん)です。

唯一の例外は中部在住のHYさん1人でした。もしかして仕事のついでに探鳥を楽しんでおられるとか？

意外と大山での探鳥経験がない人も8人おられます。東部の人からすると、探鳥にちょっと大山まで・・・というにはちょっと遠いか？山陰道の工事も急ピッチで進んでいます。ますます近くなる東部と西部。大

山に行ったことがないという訳でもないのかも知れませんが、今回の特集をきっかけに是非、大山での探鳥を楽しみましょう。

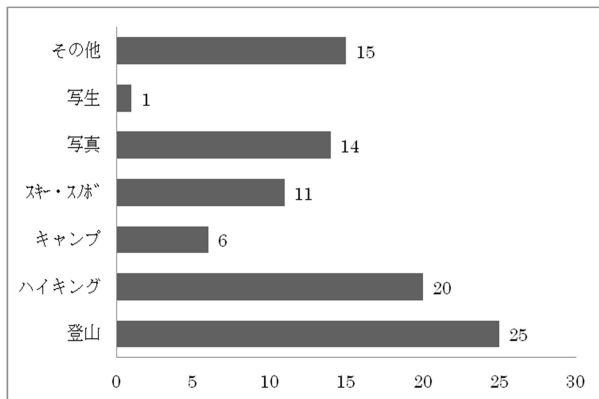
【問2】あなたの一番好きな大山の季節は～



この結果は予想どおり？新緑の中、キビタキやオオルリの轉りが聞こえる春。バードウォッチャーの多くの皆さんが待ち望んでる季節ですね。好きな理由も、「新緑、鳥が見やすい、花が多いetc」でした。次点は秋。大山の紅葉はまさに絶景ですね。好きな理由も「紅葉」がほとんどでしたが、「夏鳥と冬鳥が同時に見える」とか、「朝霧で濡れた木々の葉が美しい、自然の冬への気構えがひしひし伝わってきます。」といった詩的な回答もありました。会員全体の年齢構成的にスキー・スノボのウインタースポーツって感じでもないし、さすがに冬山登山なんて人は少数派でしょうか。「雪を被った大山が美しい、雪山は最も自然に還る季節」といった回答もありました。夏もキャンプは気持ちいいですが、鳥は見えにくくなりますね。

冬山登山なんて人は少数派でしょうか。「雪を被った大山が美しい、雪山は最も自然に還る季節」といった回答もありました。夏もキャンプは気持ちいいですが、鳥は見えにくくなりますね。

【問3】探鳥以外であなたの大山の楽しみ方は～



登山、ハイキングが他を圧倒していますね。中学校行事が初めての大山登山の経験でしたが、社会人になってからは、登山が趣味という人でないと、なかなか山頂まで上がるのは気軽に楽しむ感じではないかもしれません。

でも、大山は本格登山の楽しみ以外にも、大山寺周辺をハイキングするだけでも十分楽しめますよね。

他にも、夏のキャンプに冬のスキー、車でドライブとか、大山まで行かなくても、遠くから眺めるだけでも癒されますね。

【問4】あなたの大山のお勧めスポットは？ 3カ所まで～

この設問は失敗でした。みんな好き勝手にいろんな地名、店名、季節などなど色々書いてくださり・・・、鳥取市在住であまり大山周辺に土地勘のない編集担当は、どうまとめて良いのやら？

しばらく途方に暮れましたが、ええいっ！もうザックリとキーワードでまとめてしまうと。。

ベスト5は①大山寺（13名） ②木谷沢（7名）、 ②鍵掛峠（7名）、 ④横手道（6名）、 ⑤ユートピア（5名）でした。

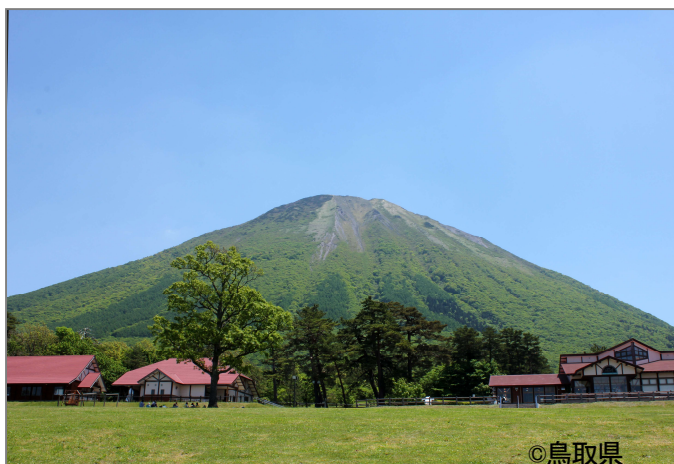
あとはそれぞれ、色々書いていただけてますが、大神山神社、金門、横手道、下山キャンプ場、豪円山、寂静山、大山自然歴史館といった回答を大山寺のくくりに入れてしまえば計35名の方が「大山寺周辺」をお勧めスポットとして回答されています。

その他、杣水高原、山頂、大山池、大山滝、元谷、川床、大休峠、香取、矢筈ガ山、三鈷岳 オオタカの森、本宮の泉、山陰道から見る大山、土砂流出で通行止めの環状道路などなど。回答に書いてあるのをただ羅列しただけです。紹介漏れもあると思いますがゴメンナサイ。

【番外編の飲食・レジャー系】も

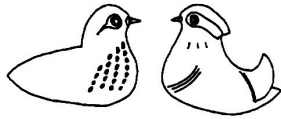
ピアホフガンバリウスを連呼するビール党、森の国、パン屋（小さじいち、麦の詩）、まつおか（おこわが旨い）、モンベル、豪円湯院、みるくの里、ブルーベリー狩りに三楽荘の山菜料理。やっぱり食べ物も外せませんよね。

私も大山牧場みるくの里のソフトクリームが大好きです。先日久しぶりに行ったらその他のお土産も充実していて、とても楽しめました。



【問5】大山での一番の思い出は何？	
大山での一番の思い出・他の思い出・支部活動へのご意見など	お名前
30年前になるが中部の気の合う仲間で山楽荘探鳥会に参加したときのこと。①シジュウカラの子育てを間近に見た。②巣の中から覗いているフクロウを見た。③どこからともなく聞こえてくるトラツグミの不気味な鳴き声を聞いた	池岡靖則
3歳の時にはじめて大山に登ったこと。大山の「オオタカの森」で初めてキビタキに出会ったこと。とてもかわいくてそれから鳥が大好きになった。	池尻菜乃音
山好きの夫と最後に新緑の大山に登った。「くまげらのドラミングするぶな林をひがな遊べば吾もくまげら」この一首は、その新緑のおかげで出来た。そして、国府万葉歴史館で大伴家持賞をいただいた。大山の思い出はたくさんあります。	石湯和子
初めてクマタカの巣を見たときはびっくりしました。よくもまあ、こんな所にこんな大きなものを・・・。大山で無人カメラを仕掛けるのは面白い。ほ乳類の他にも鳥も結構写ってる。その他には自衛隊のレンジャーとかも。	H.Y.
キビタキを間近で見たときは感動しました。探鳥会ガイド大きく見やすくなりましたね。	大下裕
氷ノ山での探鳥会でイヌワシと遭遇したこと	尾崎邦彦
南アルプス、北岳から農鳥岳縦走途中に出会った雷鳥の親子。5羽のヒナを連れての移動中の親子でした。まだ、野鳥に興味のなかった今から40数年前のことです。警戒することなく縦走路をのんびり歩いてました。	加藤貞和
今年、杜鵑類が目につくようになり、8月4日ウグイスがホトトギスを追いかけている様を見て笑ってしまいました。	河合葉子
ジョウビタキの繁殖を確認できたこと	楠まどか
ジョウビタキの繁殖の研究、初めてのイスカとの出会い。最近、部活が忙しく探鳥会にでれていませんが会報を楽しみにしています。	楠ゆずは
泊りの早朝探鳥。オオルリ、キビタキが観察できアカショウビンの声に魅了された。	楠佳人
鉢伏山、氷の山、扇の山、船上山	佐々木和夫
初めてアカショウビンを見たときの感動は今も忘れません。	けん
島根半島の山で初めてヤイロチョウの声を聞いた時。まだ1度も姿を見てません。見るのが今の目標です。	さと
ミルクの里から見る弓ヶ浜半島の眺めは何とも雄大（もちろんアイスクリームもおいしい）。昔、学習塾をやっている友人家族と訪れたが、彼はここが気に入って、次の機会に不登校気味の中学生を連れてきたそうだ。結果、学校に通えるようになったとのこと。大自然の前では人間の悩みなんて小さい。	下田康生
大山ではキビタキを多く見たが八束ふるさとの森ではとても少なかった。とても不思議に思いました。昔の話です。	田上信博
鳥取に赴任後まもなく、大山付近でヒコナミザトウムシという虫の染色体数が東西で変わることになり、学生を連れて何度も通いました。約2年かけて阿弥陀側沿いに幅500mの交雑帯があることをつきとめました。当時（1990年頃）は大山まで片道2時間以上かかったので、帰りに東伯町八橋の「こがね」でケーキセットを食べて帰るのが通例でした。大山は毎度ゴジュウカラに出合えるのが嬉しいです。	鶴崎展巨
登山です（山歩き）。大山寺→横手道→一の沢→二の沢→三の沢→鳥越峠→地獄谷→川床→大休峠→大山寺 1日かけての山歩き。青春時代の思い出です。	徳井美和子
アカショウビンを長い時間見ていて気が遠くなり、ここで死ぬのか・・・と思ったことがある。昔々、縦走していて大きな鳥が下から舞い上がってきて、私に驚いたのか兎の足を落としていったこと。	成田雅彦
清水原の散歩。かっこよすぎるクマタカに睨まれたこと。2羽いて響き渡る声も黒い顔も眼光も最高でした。それから一層、大山に通うようになりました。清水原の現状が悲しくてなりません。	東森和子
冬のスキーを終えて見る弓ヶ浜半島の美しさ。良く晴れた日には空気が澄んでいて、まるで弓を引いた時のように見える。	広沢栄司
高尾山（八王子）	松田弘志
大山と言えばやっぱりBWin大山ですね。春の大山は美しく、私の大好きなキビタキ（オオルリ）に会えます。山楽荘の山菜料理は美味ですし1年に1回、そこでだけ顔を合わせる人可以ちもいます。毎年毎年が一番の思い出です。今から来年が楽しみです。大山が大好きです。	松本真美

大山での一番の思い出・他の思い出・支部活動へのご意見など	お名前
<p>昨年のBwin大山でジョウビタキの繁殖を確認したこと</p>	三宅哲郎
<p>学生時代に春・夏・秋(冬)と1年間に3回大山登山しました。どの季節も最高でした。特に11/23勤労感謝の日の山、忘れられません。雪が降っていて山頂で食べたおにぎりは氷の塊でした。</p>	森田順子
<p>探鳥会に参加できない時期(子供が幼くて)を過ぎ、一緒に行けるようになったとき皆さんの笑顔に迎えられました。遠い昔、当時若者だった?数人と三瓶山への1泊探鳥に行き、朝、目の前に広がった雲海が素晴らしかった。上記の方々とまたまた1泊で斐伊川に探鳥に行った時、マガンの群れがこちらに向かってV字編隊で飛んできたのは忘れられません。八頭町の実家に様々な鳥が訪問してくれました。</p>	吉田明美
<p>初めての探鳥会が大山寺の4月でした。その時、望遠鏡で見せてもらったキセキレイの黄色の鮮やかさが忘れられません。</p>	吉田良平
<p>初めて1人でBWしに大山に行ったとき、目の前にキビタキが降りてきてくれたときの感動。ステキな出会いでした。</p>	若槻祐佳
<p>数年前、キャリアダウンで山頂に到着した時、ホシガラスが柵にとまって出迎えてくれた時。褒美を頂いた気分でした。8頁ジョウビタキのカラーリングが分かりやすいよう、16頁のどれかと差し替えて欲しかった。</p>	五十雀
<p>夏山登山道7合目付近で囀っているミソサザイと遭遇インスタントカメラで撮影できたこと。2番目は9合目付近の立ち木で囀ってるウグイスの観察</p>	匿名希望
<p>今年は運が良かったのか2回もオオアカゲラを間近で見ることができた。入会して間もない頃、県外の山、北アルプスに行ったとき、本当に間近にホシガラス、ライチョウを見たときの感動は今でもはっきり覚えています。今はテレビで良く見ますが、あの時の思いがよみがえってきます。银杏羽編集の皆様にはいつもお世話になり感謝しています。毎回楽しみにしています。ありがとうございます。</p>	
<p>鳥の音がシャワーのように降り注いだ時と場所を書きます。①2006/6/16登山道2-3合目②2007/6/4木谷③2015/6/7標高500mの森。今はどこにもこんな場所は見当たりません。殺虫剤が恨めしい。</p>	
<p>今は亡き鳥取大学の尾崎、生駒両先生の指導で毎年大山で探鳥会、植物観察会を行ったこと。細谷、長尾、村尾先生たちと県内外の山々を探鳥の旅したこと。中西悟堂、高野信二先生たちと富士山で探鳥会をしたこと。</p>	
<p>大山：鳥はオオルリに出会えた。タイミングが合わないこともあり、なかなか野鳥に出会えない。大阪に月1回行くたびに大阪城公園でBWしますが、1年通していろいろな野鳥が見られます。都会の公園の方がむしろ鳥がたくさん見られるのも不思議です。今年はまだモズを発見していない。どうしてなのか??</p>	
<p>山の思い出ではないが、斐伊川河口でケアシノスリを見たこと。</p>	
<p>鳥の名前、鳴き声などに興味があり入会しましたが、長年ユウレイ会員のままで。いつか...と思いつつ。</p>	
<p>大神山神社で結婚式をあげたこと。大山でアカショウビンの声は何度も聞かすが、まだ出会ってないので出会えるのを楽しみに大山に通いたいです。</p>	
<p>2009/2明間でイスカに出会ったとき 側溝に座り長い時間見ていました。2010/10大山でホシガラスに出会った時には毎日出かけました。</p>	
<p>大山登山</p>	
<p>大山での思い出に順番をつけるのは難しいです。鳥との出会いはホオジロの「チョッピーチリーチョ」という明確な囀りを初めて聴いたのが大成池でした。</p>	
<p>大山の笠原でベニヒワの大群が私のまわりを飛んできたこと。羽ばたく音すごかった。また、残雪の大山レークサイドホテル近くにヤツガシラがいたこと。</p>	
<p>中蒜山から下蒜山への登山道(下蒜山近く)アカゲラ(3羽)肉眼で。近場で一番は蒜山です。(下蒜山の登り コガラ、エナガ他)気づくのが遅れてすいません(银杏羽)表紙に探鳥会の案内はとていいです。</p>	
<p>新潟の妙高山(夏山)頂上で食事中に下の谷からクロジの冴えた声が聞こえたこと。サンカヨウが下では紫色の実が、だんだん上になるに従って花、そして雪の下でやっと芽吹いたところを見たこと。一生を一日で見ました。ハケ岳、蓼科山登山は終日雨降りて鳥の声一つなかったけど、その中でゴゼンタチバナの花が白く輝いて見えたこと。</p>	
<p>大神山神社で結婚式を挙げたこと。</p>	
<p>75歳 鳥については初心者です。立派な「鳥取県鳥類目録」を頂いたのですが、写真付きであればもっと楽しめます。別冊でも発行して頂ければ幸いです。</p>	

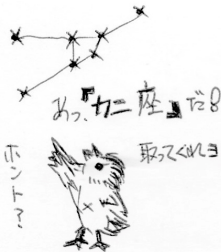


おしどりトーク (155)

蟹取県?、星取県?...の巻

- ♀：ネエネエ、酉年が終わるわね!
 ♂：鳥取県はトリ年で大変だっただろう
 ♀：鳥じゃなくて、蟹とか星じゃないの?
 ♂：「蟹取県」とか「星取県」だね
 ♀：「蟹取県」は冬限定の名前よね
 ♂：山陰の冬は「星取県」に不向きかな
 ♀：まあ、冬は蟹、それ以外は星でいいかも
 ♂：鳥、酉、取、撮、採、盗、トリ、とり…
 ♀：「取鳥県」って書く人もいるらしいわよ
 ♂：知らない人には紛らわしい名前かもね
 若♂：「鳥鳥県」にすれば間違えないね
 ♂：なるほど、「鳥川県」が書きやすいな
 ♀：「鳥々県」にしときましょう

- ♀：冬に肌が乾燥しない「しっとり県」は?
 ♂：素肌美人に「うっとり県」でもいいよ
 若♂：横綱暴行事件の現場「関取県」だろ!



銀杏羽メーリングリストから

★(11/22) 倉吉博物館の前の椿にはメジロが 5、6羽、家の庭にはいつものジョウビタキ雌1羽(リングなし)にシジュウカラ2羽スズメも加わり、同じ木にとまったり、地面におりたりしていました。少し離れた所ではイソヒヨドリ雄1羽がきれいな声でなっています。毎年やって来るツグミはまだのようです。

★(11/26) 昨日と今日ミヤマガラスを見ました。

11/25 北栄町瀬戸 約200羽

11/26 米子市淀江町中間 約180羽

11/26 米子市泉 約200羽

残念ながらコクマルガラスを見つけていません。

★(12/1) 午後2時半過ぎ日光池に行きすぐ近くの水田で餌を漁るコウノトリ1羽、採餌していたのはミズ・ツチガエル他でした。標識は確認できませんでした(稲穂の葉が高いため)。

★(12/13) 湖山池に今冬初のオオワシ情報です。本日津生島(つぶしま)に1羽止まっていたそうです。

「銀杏羽メーリングリスト」は会員なら誰でも参加できます。パソコン、スマホなどのメールアドレスを登録すれば、鳥情報の交換ができます。登録を希望される会員は事務局(津森)までメールしてください。

事務局から

①投稿大募集!身近な出来事、季節の便り、支部活動への意見、感想など。

イラスト、カット、俳句、短歌など、何でも結構です。お待ちしております。

<送付先> 〒680-0024 鳥取市玄好町325 鈴木仁 Eメール jins24@fd6.so-net.ne.jp

〒683-0006 米子市車尾4-7-29 津森宏 Eメール h.tsumori@nifty.com

②身近な野鳥情報を送ってください!フィールドノートに掲載します。

庭に来る鳥、近くの公園で見た鳥、初認情報など、何でも結構です。

<連絡先> 〒689-2352 東伯郡琴浦町浦安250-2 谷口真一 Eメール furimaya@sk2.so-net.ne.jp

発行 NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部

〒683-0006 米子市車尾4-7-29 津森宏 方 TEL&FAX(0859)21-7149 支部HP <http://www.toritorihp.or.jp/>

印刷 社会就労センター 米子ワークホーム 米子市石井1223-1 TEL(0859)26-5222(代)



＜リングつきのジョウビタキを見かけたら連絡してください（支部報154号8p参照）＞

米子水鳥公園のブログから4枚



＜①大山をバックにコハクチョウの飛翔＞



＜②前浜のツクシガモ＞



＜③久しぶりにヘラサギ登場＞



＜④雪の舞うつばさ池＞



食事風景＜①11/19 根雨で＞

＜②12/2 ログハウスで＞

＜③12/10 運営委員会で＞